

久米島町の今年の予算

予算総額 ▶ **90億5千757万2千円**

一般会計	74億2千500万4千円	-6.0%	減少
国民健康保険特別会計	10億4千93万1千円	7.3%	増加
後期高齢者医療特別会計	8千456万7千円	2.5%	増加
下水道事業特別会計	2億3千30万9千円	-16.9%	減少
水道事業会計	2億7千676万1千円	-4.0%	減少
合計	90億5千757万2千円	-4.9%	減少

去年と比べると



去年と比べると何が変わったのかな？

一般会計の増減理由
(目的別の増減額が大きいもの上位3位)

第1位

総務費 ▶▶▶ 2億8千135万3千円の減少

・沖縄振興特別推進交付金（一括交付金）及び沖縄離島活性化推進事業の減額により対前年度比で約12.9%減少しました。

第2位

土木費 ▶▶▶ 2億5千667万9千円の減少

・兼城港旅客ターミナル整備事業、儀間1号線道路整備事業の事業完了により約30.7%減少しました。

第3位

農林水産業費 ▶▶▶ 1億5千635万5千円の減少

・儀間漁港水産物供給基盤機能保全事業の事業完了により約15.4%減少しました。

● 令和3年度予算編成のポイント ●

令和3年度当初予算は、歳入では自主財源である町税の収納見込み額が年々増加しているものの収入総額に占める割合が依然として低い状況(8.8%)であり、地方交付税や国庫・県支出金等の特定財源に大きく依存した構造となっています。そのため、予算編成において更に厳しい状況となりました。一方、歳出では義務的経費である人件費、公債費及び扶助費の割合が高く、弾力性に乏しい財政構造となっており、特に今後は公共施設の老朽化による維持補修等及び高齢化の進展に伴う社会保障費の自然増が予想されます。これらの状況を打開するため、第2次久米島町総合計画掲げられた各施策を基に予算配分し、教育、福祉、産業分野など、町民の生活に必要な不可欠な行政サービスの維持と住民福祉の向上に取り組めるよう予算を編成しました。